



令和4年12月13日

川西町議会議長 鈴木 幸 廣 殿

川西町議会産業厚生常任委員会  
委員長 島 貫 偕

閉会中の所管事務調査先進地視察調査報告について

令和4年第3回川西町議会定例会において許可された所管事務調査（先進地視察調査）について、別紙のとおり報告します。

令和4年度 産業振興に関する先進地視察調査報告書

- 1 期 日 令和4年10月5日(水)～7日(金)
- 2 視 察 先 鹿児島県 鹿児島市・霧島市
  - ①鹿児島県鹿児島市「たわわタウン谷山」

日 時：10月5日(水) 午後2時30分～午後4時00分  
住 所：鹿児島県鹿児島市西谷山1丁目5  
電 話：099-202-0309
  - ②鹿児島県霧島市「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」

日 時：10月6日(木) 午前10時20分～午後4時10分  
住 所：鹿児島県霧島市牧園町高千穂3311
- 3 研修内容 産業振興に関する先進地視察調査
  - ①鹿児島県鹿児島市
    - ◎たわわタウン谷山
      - ・生産者直送の農産物販売について
      - ・農家レストランについて
  - ②鹿児島県霧島市
    - ◎第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
      - ・畜産振興について
- 4 参 加 者 川西町議会産業厚生常任委員会  
委員長 島貫 偕 副委員長 遠藤 明子  
委 員 高橋 輝行、吉村 徹、寒河江 司

研修参加 産業振興課長 井上 憲也 合計6名

5 先進地視察調査報告

①鹿児島県鹿児島市

◎たわわタウン谷山

- ・生産者直送の農産物販売について

視察対応者 JAグループ鹿児島 鹿児島県くみあい開発株式会社  
リース部 営業一課 横山 凌一  
株式会社エーコープ鹿児島  
エーコープ谷山店 店長 久保 健作

## ◎たわわタウン谷山出店概況

- ・目的：JAグループの現状は、高齢化と後継者不足による農家戸数の減少により正組合員基盤が脆弱化している一方で、准組合員比率は上昇しており、正・准組合員比率が逆転した状況となっている。

このような課題を解決するため、JA事業への理解を深める「場」を「人口集中地区」に設けることで、組合員のみならず都市生活者に理解と利用の促進や、JAの総合性を発揮することで、新たな協同の創造を通し今後のJA事業基盤の拡大に繋げていく。

- ・名称：たがやしてきた土をわたしたち谷山の街でわになって広げよう「たわわの輪」  
歴史の輪・生産者と消費者の輪・都市と地方の輪・世代の輪・女性目線の輪

- ・事業コンセプト：JAらしい、地域密着店舗の展開

### (1)「食農・活力」

- ①県内産の農畜産物の販売機能の拡大、鹿児島県の「食」・「農」の積極的に情報発信する。
- ②加工品販売、農林水産業の6次産業化を促進する。
- ③地域でいきいきと働ける環境づくりによる地域活性化に貢献する。

### (2)「くらし・共生」

- ①生活者と地域の方々との交流を促進する。
- ②農業や食に関する啓蒙活動や収穫祭等のイベントを通し地域住民との繋がりを深める。
- ③祭りやフリーマーケットなど世代を超えた地域活動により住民相互の繋がりを深める。

### (3)「健康・生きがい」

- ①地域住民や高齢者の健康増進に繋がる施設や機能を発揮する。
- ②食事の配達や移動販売による買い物弱者機能を発揮する。

◇食農・活力ゾーン・・・Aコープ、おいどん市場(結び屋、おいも&cafe、さつま路等)

◇健康・生きがいゾーン・・・1F JA 鹿児島みらい 2F JA カルチャースペース

◇くらし・共生ゾーン・・・JA-SS

- ・施設紹介：人口約60万人鹿児島市郊外に立地する「たわわタウン谷山」は、「鹿児島県農業試験場跡地73街区」売却提案公募プレゼンテーションを経て、JA鹿児島県経済連のグループ会社である(鹿児島県くみあい開発株式会社)に決定、複合型商業施設として運営が認められ、平成27年3月にオープンした。

・店舗規模：AコープSM1,195㎡、おいどん市場398㎡、ダイソー1,208㎡

・駐車台数：326台

・その他施設：農家レストランたわわ、JASS、JAグリーン鹿児島、カーブス、しまむら、ドラックイレブン

## 質疑応答

Q たわわタウン設立の経緯と行政との関わり、運営に対し補助金などはあったのか。

A もとは農業の試験場跡地だったが、県が売却、提案公募プレゼンにより弊社(鹿児島県くみあい開発株式会社)に決定した。鹿児島県 JA 一括買取し、テナントで売り出した。

現在は8年目となり、JA との複合化施設で地産地消を売りにしている。その他、しまむら、カーブス、ダイソーなどテナントで入っている。

Q 私たちの町にも森のマルシェという産直販売ができる施設があるが、積雪寒冷地の影響もあり農作物にばらつきがあり苦慮することがあるが、産直の状況はどうか。また、余った商品の取り扱いについてはどうしているか。

A 現在の生産者は約3000名である。コロナ禍もあって直売所の入荷量は減少している状況だ。

生産者より仕入れ買い取っている。(JA 店長)

Q 農業高校との農産物等での連携はあるか。

A 地元の一木農業高校よりジャムなどの加工品を仕入れている。

Q 大型スーパーがあると聞くがその対応はどうしているか。

A 地産地消・安心安全・地域密着の3点セットで、価格、黒牛、鹿児島県産を売りにして県内産農畜産物の消費拡大につなげている。生産者や生活者とのつながりを大切にしたい。

### ・農家レストランについて

昼休憩中にレストラン内を見学させていただいた。地産地消を全面に生かした店内は、バイキング方式により、地元生産者が収穫した新鮮野菜等で作った惣菜の品数がたくさん陳列されていた。店員の方々もみなさんがいきいきとしていて楽しそうな雰囲気だった。また、店内の壁には生産者や地域住民を撮った大きなパネルが何枚もあり、地域のつながりや住民同士の一体感が感じ取られ、清潔感や環境整備がなされていると感じた。

地元生産者との距離が近いことや安心安全な農産物が食べれることは、特に子育て世代や若い世代を意識したレストランであると思った。

## ②鹿児島県霧島市

### ◎「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」

「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果を競う場として、5年に一度開催される「和牛の祭典」で、牛の姿・形を審査する「種牛の部」と肥育牛の肉質等を審査する「肉牛の部」がある。鹿児島県での開催は2回目である。

鹿児島県は和牛生産日本一(33万頭) ※全国で約2割のシェアを占めている。

7月13日(水)、山形県中央家畜市場(天童市)で行われた第12回全国和牛能力共進会(通称:和牛オリンピック)山形県最終予選会が開催され、本町から計12頭が出品し、見事9頭(補欠牛含む)が出場を決定した。

◇全共出品牛(山形県代表)

	出品牛名号	生産者	地区
第2区	たかうり	後藤 慶成	東沢
第3区	なつめ	横山 聡	小松
第4区	みつひら	玉田 義信	玉庭
	ゆりふじ	小林 康裕	米沢市
	さきこ	竹田 一弘	小松
特別区	ひかり	置賜農業高等学校	小松

◇全共補欠牛

	出品牛名号	生産者	地区
第2区	かみひらみつ	玉田 義信	玉庭
第3区	あいらぶ	竹田 一弘	小松
第4区	しげさくら	横田 健一	小松
特別区	あかり	置賜農業高等学校	小松

・開催概要

大会名称 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会

主催 公益社団法人全国和牛登録協会

運営主体 第12回全国和牛能力共進会鹿児島県実行委員会

開催期間 令和4年10月6日(木)~10月10日(祝・月)

開催場所 種牛の部

高校・農業大学校の部

霧島市牧園町

肉牛の部

南九州市知覧町

参加道府県 41道府県 出品予定頭数 種牛の部 258頭

肉牛の部 166頭

高校・農業大学の部 24頭

第12回全国和牛能力共進会鹿児島県実行委員会

[鹿児島県農政部畜産課 全国輪級能力共進会推進室]

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL 099-286-3268 Fax 099-286-3250

・行事日程

(第1日目)

10月6日(木) 開会式 10:20~12:00  
 特別区審査(1) 14:00~15:00  
 " (2) 15:10~16:10 ← 置賜農業高校出場

(第2日目)

10月7日(金) 第1区審査 9:00~10:00  
 第2区審査 10:30~11:40  
 第3区審査 13:00~14:10  
 第4区審査(1) 14:50~15:50  
 " (2) 16:00~17:00

(第3日目)

10月8日(土) 第5区審査 9:30~11:00  
 第6区審査 11:10~12:40  
 特別区審査・等級決定 13:40~14:40  
 第1区審査・等級決定 15:10~16:10

(第4日目)

10月9日(日) 第2区審査・等級決定 9:30~10:30  
 第3区審査・等級決定 10:40~11:40  
 第4区審査・等級決定 12:50~13:50  
 第5区審査・等級決定 14:00~15:00  
 第6区審査・等級決定 15:10~16:40

(第5日目)

10月10日(祝・月) 肉牛の部・展示説明 8:45~9:00  
 上位入賞牛・特別賞 9:00~10:00  
 パレード展示  
 名誉賞決定展示  
 閉会式 11:00~12:30

◇成績(種牛の部)

		出品牛名号	生産者	地区
優等賞 12席	第2区	たかうり	後藤 慶成	東沢
優等賞 12席	第3区	なつめ	横山 聡	小松
優等賞 10席	第4区	みつひら	玉田 義信	玉庭
		さきこ	竹田 一弘	小松
		ゆりふじ	小林 康裕	米沢市
優等賞 14席	特別区	ひかり	置賜農業高等学校	小松

※置賜農業高等学校は全国24校中14席の成績

※川西町が出品した全頭が優等賞を受賞した「初」快挙

## 6 総括

鹿児島市「たわわタウン谷山」は、以前は農業試験場跡地(県の土地)を買い取り、JA と JA 経済連会社との複合化による新しい直販機能を生かした施設を整備。近郊農村生産者 3000 人が加入しているという。

この地区は、主要商圏内約 2.4 万世帯(鹿児島市世帯数の約 9.5%)の大型消費地にあり、人口・世帯数とも増加傾向で安定した需要が見込まれる地域である。

「新たな協同」と称して JA 鹿児島県経済連のグループ会社の「鹿児島県くみあい開発株式会社」と「株式会社 A コープ鹿児島」が連携し、農畜産物の販売機能の拡大や農林水産業の 6 次産業等加工品に力を入れている。

広い店内には農畜産物の種類が豊富で品数が大変多く陳列されていた。入口付近には花卉も充実。飲食コーナー、立ち食いコーナー等もあり、消費者目線を意識した工夫が随所見られた。また、隣の A コープ店は食品や惣菜が充実し規模の大きさや消費人口の違いを感じた。

しまむらやカーブス等、他のテナント施設との融合で地域住民のレジャーやショッピング、JASS、子どもの遊び場等で地域住民の日常生活に必要なものが揃っていることや、多世代間交流でタウンが結ぶ街づくりへとつながる取り組みである。

本町の産業振興発展のためには、農業者支援と若手後継者の育成を継続させ、町・企業・商工会等の連携協力を密に一層のスキルアップが大切である。

この度「たわわタウン谷山」の視察では、産業振興の賑わいだけでなく地域づくりの一翼にもつながった街づくりを学ぶことができた。

「第 12 回全国和牛能力共進会鹿児島大会」の応援団として大会初日の開会式、置賜農業高等学校のパフォーマンス及びプレゼンテーションを応援してきた。試合前に畜舎を見学させてもらい、本町から出場した選手のみなさんに意気込みや和牛飼育についての話を聞いた。置賜農業高校の生徒は大会を前に入念な手入れを行っていた。

5 年に一度のオリンピックとあって試合会場は熱気に包まれ、選手団の入場行進も山形県を代表する堂々とした行進だった。

結果は 24 校中、優等賞 14 席の好成績の受賞を獲得した。種牛の部では本町から出場した 5 人全員が優等賞を受賞するなど輝かしい成果であった。